

<2021年度 オリンピック・ムーブメント事業>

# JOCオリンピック教室

— 実施報告書 —

広島県 福山市立鳳中学校

Olympic  
Movement



公益財団法人日本オリンピック委員会



## 「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「オリンピック・ムーブメント事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、  
オリンピック自身の様々な経験を通して  
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、  
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、  
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート） ※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2021年4月～2022年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

### 1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、  
チームワーク、フェアプレー、  
身体を動かすことの楽しさ等を感じてもらいます。



### 2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、  
自身が感じたオリンピックの価値を生徒に伝え、  
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



※学校の通常の授業時間に実施

※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介  
学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、  
あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、  
生徒自身が自分ごととして捉え、今後活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した  
自己紹介



オリンピック自身の経験に基づき「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ  
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって変動する場合があります

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■ **オリンピック** : 石黒 由美子 先生 (水泳 / シンクロナイズドスイミング※) 【出場オリンピック / 北京大会】

■ **期 日** : 2021年11月25日(木)

※現 : 水泳 / アーティスティックスイミング

■ **ク ラ ス** : 2年1組 / 運動の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ 準備体操



- ・自己紹介の後、東京2020大会をテレビ等で観戦し、感動や応援をした生徒も多いと思うが、オリンピックにはオリンピックバリューと呼ばれる、エクセレンス：「卓越」、フレンドシップ：「友情」、リスペクト：「敬意/尊重」の3つの価値があり、今日のオリンピック教室を通して、オリンピックバリューの3つの価値を体感してほしいと伝え、準備運動に移る。
- ・準備運動として、生徒全員でのじゃんけん勝ち抜けを実施した。

○主運動 等



- ・主運動として、ボール回しゲームを実施。  
エンドライン上に生徒全員が1列に並び、ボールを受け取ったら、右隣の生徒に渡す。エンドライン上のみを移動してボールを落とさずに回し、ボールがスタート位置まで戻った時点でゴールとした。



- ・運動の時間を振り返り、オリンピックバリューを少しずつ分かってきたのではないかなと思う。チームとして団結し、ルールの中で目標を達成しようと取り組んでいる姿に、オリンピックバリューを感じられた。座学の時間では、オリンピックに出場して感じたことについて話したい。オリンピックバリューについて考え、理解を深めていく時間にしたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 石黒 由美子 先生 (水泳 / シンクロナイズドスイミング※) 【出場オリンピック / 北京大会】

■ **期 日** : 2021年11月25日(木)

※現 : 水泳 / アーティスティックスイミング

■ **ク ラ ス** : 2年1組 / 座学の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ オリンピックの価値を伝える



・映像を使用して自己紹介を行った後、実際の競技用水着を披露し、この水着にもオリンピックバリューが込められている。オリンピック出場までの過程や、オリンピック出場時に感じたオリンピックバリューを3つの価値に当てはめて伝え、皆にも身近にあるオリンピックバリューを考えてもらう時間にしたいと授業の目的を確認。

○個人ワーク ~ グループワーク 等



発問 : 自分の日常生活の中にあるオリンピックバリューを考えてみよう

発表 : エクセレンス : 「部活に一生懸命に取り組む」「クラブ、勉強、体育大会を一生懸命頑張る」等  
フレンドシップ : 「部活で怪我した時に助ける」「心をひとつにして合唱コンクールに参加した」等  
リスペクト : 「親に感謝、友達がいることに感謝」「校則を守る、礼儀正しくする」等



・今日のオリンピック教室を通して皆の様子を見てきたが、真剣に楽しみ、周りの意見を聞いて作戦を立て、相手の気持ちを尊重し学んでいく姿勢がすばらしかった。オリンピックバリューは皆が発表してくれたように日常生活の中にも多く存在しており、それぞれの成長や世界平和にも繋がっていくものだとなえ、授業終了。

■オリンピック：田中 琴乃 先生 (体操 / 新体操) 【出場オリンピック / 北京大会、ロンドン大会】

■期 日：2021年11月25日(木)

■ク ラ ス：2年2組 / 運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



- ・自己紹介の後、新体操はリボンやボール、フープ、クラブ、ロープ等の手具も使用して演技を行う競技と説明し、リボンを使用した演技を披露。オリンピックバリューについて説明し、運動の時間では体を動かしながら、オリンピックバリューを感じてもらいたいと伝え、準備運動に移る。
- ・準備運動として2人一組でのボール取りゲームを実施。掛け声に合わせて、掛け声と同じ体の部位に手を当て、「ボール」の掛け声の時のみ互いにボールを取り合う。ボールの掛け声ではなく、体の部位の掛け声でボールを取りに行く等のアレンジを加えながら数回実施。

○主運動等



- ・主運動として、ポッチャを実施。班毎に分かれ、練習タイムを設けた後、全2回ゲームを行う。ポッチャはパラリンピック競技でもあり、老若男女、年齢を問わず楽しめる競技であり、健常者も障がい者も、言葉が通じなくても皆で一緒にできるのがポッチャの素晴らしさで、自身も大好きな競技だと伝える。



- ・運動の時間を振り返り、一球一球に集中し、ベストを尽くしていることが伝わった。また、班の皆で投げ方やどのボールを狙えば良いのか等、しっかり話し合いができていてチームワークも良かったと話す。  
座学の時間では、競技に出会ってから現役引退までの経験談を話し、皆の今後の生活に役立てられるように伝えていきたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 田中 琴乃 先生 (体操 / 新体操) 【出場オリンピック / 北京大会、ロンドン大会】

■ **期 日** : 2021年11月25日(木)

■ **ク ラ ス** : 2年2組 / 座学の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ オリンピックの価値を伝える



・映像を使用して競技について説明。5歳時に競技を始め、オリンピックの開会式をテレビで見たことがきっかけでオリンピックに出場することが夢となった。夢を叶えるために、ライバルは自分自身と考え、過去の自分を越えるために一生懸命努力し、練習に励んだ。練習に励み中で大きな壁にぶつかることもあったが、家族や仲間の支えもあり、諦めずに競技を続けたことで壁を越えることができて、オリンピックに出場できたと話す。

○個人ワーク ~ グループワーク 等



発問：より良いクラスになるために必要なことをオリンピックバリューに当てはめてみましょう。

発表：エクセレンス：「お互いを高め合い、同じクラスの人に勝てるように努力し、ベストを尽くす」等

フレンドシップ：「お互いを理解できるクラスで、そのためには普段話さない人と話してその人のことを知る」等

リスペクト：「積極的に意見を言ってお互いを理解する」「仲間への感謝を忘れずに尊敬しよう」等



・座学の時間を振り返り、長い人生の中で挫折をすることもあろうと思う。挫折したとき周りの意見を聞き、いろいろな方向から困難に立ち向かうことで必ず乗り越えることができる。苦しいときに気軽に相談ができて、一緒に考え、乗り越えてくれる仲間を学校生活の中で見つけてほしいと伝え、授業終了。

■オリンピック：田中 琴乃 先生 (体操 / 新体操) 【出場オリンピック / 北京大会、ロンドン大会】

■期 日：2021年11月25日(木)

■ク ラ ス：2年3組 / 運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



- ・自己紹介の後、新体操はリボンやボール、フープ、クラブ、ロープ等の手具も使用して演技を行う競技と説明し、リボンを使用した演技を披露。オリンピックバリューについて説明し、運動の時間では体を動かしながら、オリンピックバリューを感じてもらいたいと伝え、準備運動に移る。
- ・準備運動として2人一組でのボール取りゲームを実施。掛け声に合わせて、掛け声と同じ体の部位に手を当て、「ボール」の掛け声の時のみ互いにボールを取り合う。ボールの掛け声ではなく、体の部位の掛け声でボールを取りに行く等のアレンジを加えながら数回実施。

○主運動等



- ・主運動として、ポッチャを実施。班毎に分かれ、練習タイムを設けた後、全3回ゲームを行う。ポッチャはパラリンピック競技でもあり、老若男女、年齢を問わず楽しめる競技であり、健常者も障がい者も、言葉が通じなくても皆で一緒にできるのがポッチャの素晴らしさで、自身も大好きな競技だと伝える。



- ・運動の時間を振り返り、良いプレーがあった時は拍手が起り、それに「ありがとう」と応える場面があった。また失敗した時にそれを責めずに声を掛ける場面があり、これはオリンピックバリューであると言える。座学の時間では、競技に出会ってから現役引退までの経験談を話し、皆の今後の生活に役立てられるように伝えていきたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 田中 琴乃 先生 (体操 / 新体操) 【出場オリンピック / 北京大会、ロンドン大会】

■ **期 日** : 2021年11月25日(木)

■ **ク ラ ス** : 2年3組 / 座学の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ オリンピックの価値を伝える



・映像を使用して競技について説明。5歳時に競技を始め、オリンピックの開会式をテレビで見たことがきっかけでオリンピックに出場することが夢となった。夢を叶えるために、ライバルは自分自身と考え、過去の自分を越えるために一生懸命努力し、練習に励んだ。練習に励む中で大きな壁にぶつかることもあったが、家族や仲間の支えもあり、諦めずに競技を続けたことで壁を越えることができて、オリンピックに出場できたと話す。

○個人ワーク ~ グループワーク 等



発問 : より良いクラスになるために必要なことをオリンピックバリューに当てはめてみましょう。  
 発表 : エクセレンス : 「夢や目標を持つこと」「最後までやりきる」等  
 フレンドシップ : 「仲間割れをしないこと」「一人一人のことを考えて行動する」等  
 リスペクト : 「相手の意見を尊重し、否定しない」等



・座学の時間を振り返り、ライバルは自分自身と考え、過去の自分を越えるために一生懸命努力し、練習に励んだ。どれだけ練習を重ねても自分自身の力だけでは、オリンピックに出場することはできない。周りの支えがあってこそ、大きな壁を乗り越えることができる。壁の乗り越え方は一通りではなく、横を通れたり、壊すことできたりと様々な方法がある。人に相談すると心が軽くなることもあるので、ぜひ相談できる友達を学校生活で作ってほしいと伝え、授業終了。

■集合写真

・2年1組



・2年2組



■ 集合写真

・2年3組



■ 記念品贈呈

・2年1組



・2年2組



・2年3組



■ 修了証贈呈

